

from

ほうかつ

令和6年11月発行

11月23日
開催!

檜葉の農業と福祉がタッグを組んだイベント 「ならは農福フェス2024」を開催します!

来たる11月23日(土)に「ならは農福フェス2024」が開催されます。これは、昨年度まで個別に開催されていた農業の祭典「ならSUNフェス」と福祉の祭典「ならはコミュニティコレクション(通称:ならコレ)」を合同開催するもので、ならコレにとっては今回10回目を迎える大きな節目となります。震災前に行われてきた「健康福祉まつり」の再開とも言える、檜葉町の農業・福祉・健康づくり・地域づくりを身近に感じていただけるイベントです。今回は開催間近となった「ならは農福フェス2024」についてご紹介します!

◆震災後にスタートした「ならSUNフェス」と「ならコレ」の歩み

農業 イベント ならSUNフェス について

- ならSUNフェスは、町内で採れた農産物の安全安心とおいしさをPRすることを目的としてスタートしました。
- 地域の皆さんが丹精込めて作った農作物の品評会をはじめ、大投げ餅、地元団体によるステージ発表や農機具展示等が行われ、秋の収穫を祝う一大イベントとして開催されてきました。



福祉 イベント ならコレ について

- ならコレは、子どもから高齢者まで、認知症や障がいの有無に関わらず誰もが地域でいきいきと暮らしていく「檜葉ならでは」の地域づくりについて考えるシンポジウムとしてスタートしました。
- 地域の皆さんによる作品展示、ステージ発表、寸劇や意見交換等を通して、地域共生社会の実現について考える機会となっています。



今年は!

「ならは農福フェス2024」として開催!

タッグを組んで!

◆ならは農福フェスはどんなイベント?

ならは農福フェス2024は、農業(ならSUNフェス)と福祉(ならコレ)がタッグを組み、檜葉町の豊かな風土で育まれた農作物の収穫を祝うとともに、地域とのつながり・支え合いや福祉への理解を深めるきっかけとなることを目的としたイベントです。作品展示やステージ発表、ブース出展等を通して、地域の皆さんや企業、役場、社会福祉協議会等の各団体がイベントに参加します。是非みんなで盛り上げましょう!

ゆず太郎が
解説!



ならは農福フェス

ならSUNフェス×ならはコミュニティコレクション 2024
檜葉ならではの地域共生社会の実現を目指して
~つくる・つながる・支えあう~



日時: 2024年11月23日(土) 9時開場

会場: 檜葉町コミュニティセンター、町役場西側駐車場

屋内エリア (檜葉町コミュニティセンター)

- 農作物品評会
- 作品展示
- ならコレシンポジウム
- 活動ステージ発表
- 寸劇+トークセッション
- 抽選会(新鮮野菜等)

あったか汁の
ふるまいも
あります



屋外エリア (町役場西側駐車場)

- 農機具展示
- 町役場、社会福祉協議会等の各団体によるブース出展
- 飲食ブース、物販等



※詳細は、広報ならは11月号や檜葉町ホームページをご覧ください

インタビュー

町の担当者に聞きました!
ならは農福フェスへの意気込みを教えてください!

檜葉町農林水産課
課長補佐 新田勇太さん

秋の収穫を祝うイベント「ならSUNフェス」が、今年は農業と福祉が一緒になり新たなイベントとして開催されます。町内産のもち米を活用した大投げ餅や農作物品評会などに加え、町内外の美味しい秋の味覚など盛り沢山です。皆様のご来場お待ちしております!

農



福

檜葉町保健福祉課
課長補佐 遠藤一幸さん

「農業」と「福祉」の連携を通じ、地域における多様な人々が役割を担って活躍できる檜葉町を目指せるような、そんな取り組みを知っていただく機会になってもらえればと思います。是非多くの皆様のご来場をお待ちしております!

地域包括支援センターもタッグを組み、今年も一緒に取り組みます!



センター長
江尻

檜葉町が策定する高齢、障がい等の福祉関連計画には、重点事項として「健康福祉まつりの再開」が掲げられています。今回の合同開催は、健康福祉まつりを実現化するものであり、ずっと目指してきた地域福祉の一大イベントです。これまで積み重ねてきた「ならコレ」10回の節目でもあります。皆さん是非お越しください!

高齢者・障がい者の総合相談窓口

TEL:0240-25-4155 FAX:0240-25-4156

〒979-0604 檜葉町大字北田字鐘突堂5-5 (檜葉町保健福祉会館3F)

Email: naraha-houkatsu@car.ocn.ne.jp

お気軽に
ご相談ください。



地域づくりレポート!

消費者被害にご注意！ ～地域ミニデイ出前講座を開催しました～

双葉地方権利擁護支援センター8色 × 地域包括支援センター

近年、リフォーム詐欺、保険金の還付金詐欺といった消費者被害が増加しています。「自分は気を付けているから大丈夫」と過信せず、様々な手口による消費者被害に遭わないよう日頃から用心しておくことが大切です。今回、双葉地方権利擁護支援センター8色（はちいろ）と地域包括支援センターが地域ミニデイにおじゃまし、寸劇を交えながら**消費者被害防止と権利擁護（高齢者、判断能力の不十分な方の権利や暮らしを守る支援）**について出前講座を行いました！



前原地区ミニデイ



北田地区ミニデイ



上小埜地区ミニデイ

<寸劇のストーリー>

ある日の昼下がり、独居高齢者（80代女性）の自宅に悪徳リフォーム業者がやってきた。偽の写真を見せて「お宅の屋根が壊れています」「今なら特別安く修理できますよ」と言葉巧みに伝え、それを信じた女性はつい高額な契約をしてしまいました。騙されたことに気づいた時には・・・時すでに遅し!!

Point! <対応例>
「ちょうど今夜息子が来るから相談してみっぺ。名刺置いてって」などと言って断る

※怪しいと思ったら、まずは断りましょう。
※心配なことがあれば、お気軽にご相談ください。

悪徳業者

高齢者

寸劇の様子

先日の大雨で自宅の屋根が壊れています。今なら特別安く修理できますよ。

特別安いなら修理お願いすっかな。

詐欺!

働くスーパーシニアをご紹介します



今年も「秋空散策あるこう会」が10月19日に開催されました。例年、木戸川漁協前にて美味しいサケの紅葉汁が振る舞われていることをご存知の方は多いかと思いますが、この紅葉汁が作られている背景はご存知でしょうか？

サケの紅葉汁を作っているのはコチラのスーパーシニア5人組。5人合わせて392歳です!! 8時～16時まで黙々と仕込みを行っていました。手際の良さにビックリです! 長く続けられる秘訣は「みんなと和気あいあいやれること」「健康で元気だからこそ続けられるんだ!!」との声が聞かれました。これからもスーパーシニア5人組の活躍を応援しています!

木戸川漁業協同組合 鈴木謙太郎さん

現在、5名の方々に活躍してもらっています(以前は女性部在籍20～30名程でした)。毎年この時期にはサケの紅葉汁を作ってもらっていて、なくてはならない存在です!!

榎葉町地域包括ケアシステム まじわる つながる 支え合う リレー

榎葉町地域包括ケアシステムに関わる多様な関係機関をリレー方式で紹介するコーナーです。榎葉小学校から榎葉中学校にバトンが繋がりました。

第5走者 榎葉中学校

～榎葉町立榎葉中学校は地域での学びを大切にしています～

(2017年4月榎葉町に戻り新校舎で教育活動を再開 令和6年11月現在 生徒数66名)



福尾 淳 教頭 松本 涼一 校長

～榎葉中学校ならではの教育～

キャリア教育
模擬会社Nalys(ナリーズ)を設立し、企業運営や商品開発、営業販売などを学ぶ

3C(サンシー)プロジェクト
アスリートを講師に迎えスポーツの楽しさについて学ぶ

JFAアカデミー福島
プロサッカー選手を目指す子どもたちと同じ校舎で学び、共に切磋琢磨し成長する

～地域とのつながり～

- * 地域の方々と共に榎葉町の特産品である“ゆず、サツマイモ”などを使った様々な商品を開発。商品開発だけでなく、榎葉町の魅力を多くの方々に発信しています。
- * 学校運営協議会を設置し、小中学校と地域住民、保護者などが学校の運営や課題を共有することで、地域が一体となって子どもたちを育む学校づくりに取り組んでいます。
- * 榎葉町役場のこども課や保健師とは常に連携を図り健康づくりに取り組んでいます。身近な存在であり、子ども中心の行政という印象です。
- * 地域とのつながりが深く、体験を通し様々なことを学んでいます。今後は、地域の福祉分野にも興味関心を持ち成長できるよう、身近にある社会福祉協議会との連携も図っていかれたらと思っています。

～小学校とのつながり～

* 子どもたちの状況について情報共有を行っています。中学生になっても一人ひとりの得意なことを活かし学ぶことができるよう、携わっていきたくと思っています。

～子どもたちを育てる中学校の思い～

* 特色ある教育環境の中で、コミュニケーション能力や発信力、積極性を身につけ、自分の夢を実現できるよう成長してほしいと思っています。そのために、我々ができることに全力で取り組んでいきます。

～みんなのつばやき～

センター長 江尻
最近、湯船につかりながらついつい口ずさむ曲があります。「初恋」村下孝蔵 “好きだよとさえずに初恋は～”♪♪♪ 私の初恋は…いつだったか…? 思い出せない。

社会福祉士 渡邊
先日、社協の中堅職員向け研修を受けさせていただきました。中堅になったことを意識して頑張ります。

生活支援コーディネーター 小林
「多様化する福祉行政に終わりはない」人生の大先輩から大切なことを教わりました。

看護師 馬上
東京に行く機会が増えました。秋葉原、渋谷、浅草、下北沢…家族の希望に応じどこまでも運転する私です。運転大好き! 首都高もどんとこい!